

対話 **C** (Conversation)を通じて、

確実に **S** (Step By)・**S** (Step)

オリジナルシステム **O** (Original)

ユーザーニーズにフィットするオリジナルOAシステムの構築

1 . コストパフォーマンスを追求した、ユーザのオリジナルシステム創り

ビジネス・アプリケーションは業種や業態、また規模や運用形態によって、その仕様が異なり、これらが充分満たされなければ、対費用効果は得られません

CSSOは、ユーザーのニーズを確認しながら、ステップ・バイ・ステップで、安全・確実にシステムの構築を進め、最終的にお客様の満足するトータルシステム創りを行います

2 . ユーザ・ニーズや要望に迅速かつ柔軟に対応

どんな優れたシステムでも、企業の成長や運用環境の変化に対応できなければすぐに陳腐化してしまいます。

CSSOシステムは、こうした企業ユーザーの運用環境の変化にスピーディーかつフレキシブルに対応します

3 . エンド・ユーザーコンピューティングの推進

ユーザ自身がシステムづくりを行う事が、パソコン利用の本来であり、最良であることは言うまでもありません。

こうした"エンドユーザ・コンピューティング"は、今後ますます進みコンピュータのシステム作り、一部のソフトハウスや開発技術者だけが握っていた時代が過ぎ去ろうとし

ていますが、いまだ一般企業ではそれに至る過渡期にあるのが現状です。

C S S Oシステムは最終的には"エンドユーザ・コンピューティング"を推進するためのツールとしての位置づけでユーザーに提供します

日本のビジネススタイルに融合した、
世界基準のオープンシステムのC S S Oシステムは
エンドユーザ・コンピューティングのツールとして提供します

特 長

1 . ハードのメーカーやOSのレベルに制限されないマルチベンダーシステム

CSSOシステムのプログラムとそのデータはハード・メーカーやマイクロソフト社のWindows OSレベルの制約を受けることはありません。

したがって、ハードの機種変更やWindowsのレベルアップに翻弄されることがなく異なるメーカーの機種・レベルの異なるOS間でのLAN環境での運用が可能です

2 . クライアント・サーバー(Client & Server)方式のネットワークに対応

情報資源の共有化が進む中、ネットワークシステムへの移行は企業OA化を構築するうえでの必須要件となります。

CSSOシステムは、業務の拡大やシステムの拡張に伴い、MRDBに搭載された優れたハイテク技術により、スタンド・アロン運用のプログラムとそのデータが、そのままC/S方式のLANはもちろん、汎用機とのWANに極めて容易に移行出来ます

3 . DDE機能(Dynamic Data Exchange)の標準装備

CSSOシステムは、他のアプリケーションや

WindowsのCASEツール(Excel or Access)と動的データ交換が可能です

4 . 強力なデータリカバリ機能とセキュリティ機能でデータの保全を追求

大容量のデータを処理するビジネスソフトの場合、メモリのハングアップや停電時のトラブル、またプリンタ出力での障害が起こりがちです

CSSOシステムはデータファイルごとのセキュリティ機能や、システムダウン時の強力な自動復元機能を備えています

5 . 操作の対話式オペレーションガイド付きシステム

操作マニュアル片手のシステム運用は、ユーザのオペレーターにとって過重な事です。

CSSOシステムではそれぞれの処理画面で「操作手順のミス」や「データの論理チェック」を行い、オペレータの「操作ミスやうっかりミス」を未然に防ぎます。

6 . だれでも使えるコードを意識しないコード入力システム

O A ビジネス・システムで避けることの出来ないコードの入力や選択は、得意先や商品が多い場合、わずらわしいものです。

C S S O システムでは、得意先や商品のカナヨミ 1 ~ 2 文字でコード番号を絞り込み、ダイアログボックス(ポップアップ・ウインドウ)を開きコードを意識せずに入力や検索が可能です。

7 . キーボードによるスピーディーな操作が可能

キーボードに慣れたオペレータは、マウス操作よりもキー操作の方がそのスピードが勝ります。

C S S O システムはマウスの操作をキー操作(ホットキー)に置き換えて、入力のスピードアップを図ります

8 . リスクの高いファイル操作は、定型化してデータの保全を図ります

Windows Explorer 等によるファイル操作はデータの保全上のリスクを伴います。

データのバックアップやリストアは定型処理として、C S S O に組み込んでファイル操作のミス回避します

【動作運用環境】

O S : WindowsXX & WindowsNT & WindowsXP & MS -DOS

C P U : 2 0 0 M H 以上

H D D : クライアント側 ルートドライブ(C:¥) 1 G 以上

サーバ側 2 G 以上

M E M : 6 4 M B 以上 (1 2 8 M B 以上を推奨)

R D B / M S : (リレーショナルデータベース・マネジメント・システム)Runtime または開発ツール

T D C ソフトウェアエンジニアリング社提供 < M R D B >